

理科(小)部会 実技研修会 終了報告

テーマ	授業で使える実験プラン、教材紹介	
日時	令和7年7月11日(金)	
会場	恵庭市立島松小学校 理科室	
講師	大崎 章浩 氏 (お茶の水女子大学総合知開発研究機構 サイエンス&エデュケーション研究所 特任講師) 貞光 千春 氏 (お茶の水女子大学総合知開発研究機構 サイエンス&エデュケーション研究所 特任准教授)	
参加者	18名	
研修会 の 様子		講師紹介～概要説明
		紅茶の茶葉であるマローブルーを利用した、水溶液の教材。
		リトマス紙は赤色青色の2種類それぞれを使用する必要があるが、マローブルーであれば、単体で利用できる。よく知られているムラサキキャベツは生ものなので保存に難があるが、茶葉は乾燥しているので保存に適している。
		ミラクルロケットという玩具をつかった、筋肉の伸縮模型。繊維質であるから、一般的な対義語関係とは異なる「縮む⇔緩む」という様子が捉えやすい。
		大崎先生が夢中になっているという3Dプリンター。従来であれば、理想に近いものをホームセンター等で探していたところ、自作することが可能になったとのこと。これを活用した自作教材も豊富に紹介していた。